明治四十三年九月三十日（金曜日） 第五百二十一號 (一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年十一月二十一日第三種郵便物認可
本紙定價 一枚金二錢▲一ケ月前金四十五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金 五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

雜錄

漢城より

（二十七日） 旅渦逸人

▲吾等は屢々「輿論」なるタームに接す、而して「輿論の力」なるもの甚だ多くの場合に權威あるものたるを信ず、之れ事實なるが故に信ずる也。

▲然れども吾國に於てはカラ騒ぎのみ徒らに流行りて、眞に輿論と稱すべきものゝ喚起さるゝことは極めて罕れなり、故に民論の權威顯はるゝ機會の極めて罕れにして、カラ騒ぎは驚て怨嗟の聲を聽するを見る。

▲輿論の起ること稀にしてカラ騒ぎの流行るは民間に卓越したる思想と、強硬なる意志の存する有りて民論を統一し指導するもの之れ無きが爲め也、然らば民間に斯る思想と意志との存在せざるやといふに決して爾らず。

▲朋來吾國の識者又は先覺者は餘りスマシたがるの癖あり、或は偏學の獨慎てふ敎をハキ違へたるに因るやも知れねど、夫れで以餘りに子供らしからずや、冷か過ぎずや、況んや識者たり先覺者たる人は、世の皆已を信じ、己を敬せんことを不言不語の間にも要求しつゝあるに於て、何ぞ起つて社會を指導し、彼の「カラ騒ぎ」をして條理ある輿論たらしめざる。

▲我が京城新報紙上、頃日諸名士の産業振興策を連載せり、何れも名論卓説と云はんは少しく阿ねるの嫌なからず、唯穩健なる實際的議論として讀ぶる推重に價せずや、而かも諸名士の所論は多く民間の願望を綜合したるものに等しく、民間の願望は未だカラ騒ぎこそせざれ、やがては或喚聲を醸成すべく其處に醗酵の素を成しつゝありし也。

▲去れば吾等は諸名士の所論が民間の願望を綜合し、指導し、同時に其の位置が條理ある民間の願望を遂げしむるの義務あり責任あり且つ便宜を有せる人々なるが以に世人は其處に希望を繋け得べきものなることを信じ、而して未だカラ騒ぎも起らざるに既に民間の願望は輿論たるべく整調され、而かも其の未だ發せざるに方りて早くも遂げらるべき希望を生じたるを慶す、如斯者輿論の權威も興なけん於此吾等は善を爲しつゝあるを樂しみ思ふ也。

雜報

列強海兵補充現況

列強の海軍擴張競爭は引續き全力を擧げて行はれ居るに拘はらず其首位を占むるものは依然英國にして兵員約十三万を有し次は近年万擧に長足の進歩を遂げたる米國の五萬八千、第三は佛國の五萬五千、第四は獨國の五萬四千、第五は露國の四万九千、第六は伊國の三萬一千等順次之に次り而して其補充方法は左の如し

▲英國 は全部の兵員(豫備員含む)を志願者より採用するを以て巨費を要するの不利ありと雖も各兵科に於て長期勤務の熟練兵を常に使役し得る特長を有せり

▲米國 も亦兵員を志願者より採用すと雖も何故か同國は此の補充制度に依りては其所要の兵員を充足する能はずして絕わず不足に訴へ居れり而して時々志願者の數幾許か增加することあるも其原因は經濟界の不振にあるを以て到底一時の現象たるを免ぬかれず

▲佛國 は沿岸各地の壯丁を徵募して長期服役の熟練なる兵員を充實せしむるとを爲し居れり而して之が爲め右沿岸地の壯丁に徵募前に於ても相當の特別保護を與へ居れり

▲獨逸 も亦徵募兵を以て充實するを元則と爲し居るものなり尤も沿岸地及び准沿岸地より集め得るものは所要の約三分の一に過ぎざるを以て一方に志願兵採用の便法を設け漸く缺員なからしむる狀態にあり

英國東宮の御來遊

英國皇太子並に其弟君が明年を以て世界漫遊に行はるゝ趣なるが由來英國皇室に於ては屢々歷代の皇太子を外に遊ばしめ以て外國の實狀を研究せしめらるゝの風あり現に今帝の如きも今を去る二十九年御年十六にして兄君クレアレンス公と共に軍艦バカント號の候補生として世界廻航を試みらるゝの途次親しく日本に御來遊ありしことあり今回の御旅行が如何なる形式を取る可きや未だ明ならざるも東宮并に弟君は共に海軍兵學校にあらせらるゝを以て或は先年の如き例に依らるゝこともあらんか東宮は御名をエドワード、アルバートと申し御歳十六に渡らせらる又其弟君とあるは多分御次弟アルバート、フレデリック(御年十五)と指すものなる可し

滿洲商戰の活氣

滿洲に於ける本年の大豆作柄は一体に良好にして實收高は昨年に比し約一割增加し七百萬石餘に上るべしとの見込なるも當初豫想されたる如く氣配高からず目下各地共靜穩にて各輸出商も形勢を觀望して表面頗る平靜の観を呈せるも其實三井の如きは既に卅餘名の店員を各地に派して商戰の準備怠りなき一方にはサミユル商會亦大活動を開始せんとし大連其他六箇所へ出張所を新設せるが同商會にては當初より百萬圓迄の損失を見込み斯業の取引を開始せるだけあり企畫却々に大規模にして本年の如き大に雄飛せんとしつゝあり尙一面には獨逸商人等が本國の保護の下に大活躍を試みんとし續々倉庫を建設しつゝあれば本年の大豆戰は極て猛烈なるべしと觀測さる

道長官の人選難

朝鮮總督府新官制は三十日の官報を以て發表され十月一日より施行さるべし然るに之に伴ふ任官者の詮衡は頗る行惱の姿に在りて最も必要急務とせらるゝ道長官の如き殆んど絕望の有樣なりと傳ふ而して這般行惱の原因に就ては種々なる理由ありて存するが其主因とも認むべきものは第一地方長官として其權限甚しく微弱なる事是なり則ち其待遇は堂々たる勅任官なるも警察權を有せざるを以て到底內地府縣知事の比に非ざればなり警察權を有せざる地方長官は蹩足の獨步るきと等しく地方の主腦者たる虛位を擁するのみにして遂に滿足なる行動を爲し難し又第二は新設制度の常として希望徒らに多きも經費之に副ふ能はざる事是なり現に地方現在の狀態に就ては財源の窮乏甚しく決して期待の半ばだも遂し難き事瞭然火を見るよりも明かにして是れ最も苦痛とする處なり有爲の材能を抱き滿腔の經綸を持し居る人なりとせば一層其苦痛甚大なれば斯く任官を厭ふの狀あるも已むを得ざる次第なりとす第三は其俸給の比較的少きも亦一因なりとす則ち內地は既に三割の增俸ありて充分其身分生活を持するに足る而して朝鮮に於ては如何といふに幾分の增加俸ありとするも遠く交通不便の各道にありては家族的種々の困難あり殊に兒童の敎育に於て甚しく故に二箇の家庭を作りて之に處するとせんか彼の幾分の增加俸は毫も其要を充たさず却て加俸なき內地の優れるを見る勞々此の如く人撰を難する所以なりと云へり

講談

大岡政談 越後傳吉

第八十六回 旭堂南陵講

○「サアこれから吉原へ乘込う」藤「ヨシ行う〳〵、藤兵衛宜いかね」藤「マア〳〵待てくれ、飮むのは構はぬが吉原まで奮らされちやア足らなくなつてしまふ」一同「愚圖々々いふな、酒を飮んで赤い顏をして自分の家へボンヤリ歸る馬鹿があるものか、斯ういふあぶく錢の取れた時にヤア偶には白粉臭い姐さんの相手をしなきやアならねね、サア〳〵行う」何しろ口を篏で飯を食てる連中だから狡猾い〳〵、もう藤兵衛はフラ〳〵として居る奴を無理矢理に連出し威勢よく乘込んで來たのが吉原馴染の女郎屋へドッと上り込んで大勢の藝妓を招き、スッテン〳〵と大散財、藤兵衛醉てゐるがこの始末にヒヤ〳〵して爾う斯うする中に敵娼の花魁がズーッと決つた、頓て引けになつたが藤兵衛の敵娼は藤兵衛が餘り美い男でない所へ金を餘り使はされるので何となくツン〳〵してゐる、ソコで花魁が嫌な男だと思つたものか、到頭肝腎な金主の藤兵衛が宵光を食て了つた、早くいふと強い振れやうをしたので醉てゐる酒もいつしか醒て了ふ何も癪に障て堪らない、蒲團の上に座て見たり寢轉がつて見たり、折には廊下へ出て見たり 藤「エヽ面白くもねへ、よくこんな馬鹿な目に遭つたもんだ、昨夜の料理屋の勘定がこれ〳〵に附てる、そこで今日の勘定が大變だ、何も十兩で足りねへくらゐだ、眞個に人を馬鹿しやアがつた、馬鹿々々しい」と怒つてゐるうち夜はモウ白々と明けて參る、連中は皆大欸待と見ねまして ニコ〳〵もので一同「藤兵衛、サア引上げやうか」藤「チエッ」一同「何を怒つてるんだ」藤「何を怒つてるんだつて、人を苦しめやアがつて」一同「まづい面アするない、女郎買をして遊んだ翌日は威勢よく引揚げるもんだ」藤「乃公は何うも馬鹿〳〵しくつて、委よく引揚げられない」一「サア〳〵何所かで一寸朝迎ひ酒といふ奴を一杯飮んで家へ引取らう」藤「オイ〳〵汝等ア酒を飮むのは構はねえが乃公ア知らねぞこれだけ飮んで遊んで矢ッ張り、何とかしなくちやア不可ねわから、朝の勘定まで知らねぞ」「愚圖々々いひなさんな、サア一緒に行かう」漸う女郎屋の勘定を拂ひますと、十兩の金ホンの二分二朱ばかり殘つた 藤「マアよく〳〵こんなに悉皆使はせやがつたいまく〳〵しい」と怒りながら一寸したところで一杯飮み、殘つてゐた金までも宜い塩梅に使ひ果してうのまゝ宅へ歸ると藤兵衛腕を組で考へ始めた 藤「何のことだい、金は使はされるわ女郎にや振られるわ馬鹿々々しくつて物もいへねへアーア〳〵」欠伸が出やアがる睡い〳〵仕様がねゝな、ホイこんなことはいつて居れねえ十兩の口の願書を認てやらなけりやアならないエー仕方がねへ、馬鹿々々しいが書う、アヽ何とかいつたな、さう〳〵下書が此所にある、コーッとマア宜い加減に書いとかう」筆を採て書出した、庄左衛門は實に災難だ十兩取られたうへ二日醉で睡い眼を擦りながら馬鹿らしがつて書んでですから、何せ碌な願書は出來やアしませんそれを持てテク〳〵庄左衛門の宿へ遣て來た 藤「エヽれ早うございます 庄「ハイ御苦勞さまでございます 藤「エヽ何うも大きに遲うなりました 庄「ハイ何うでございます甘いこと出來ましたか 藤「宜いも〳〵ろりやアもう十兩といふ大金が掛つてるんですからな、何うも昨夜はスッカリと振られました 庄「エッ……藤「ナニ此方のことで、何うも御覧の通り私の眼を御覧なさいまし 庄「大分眼が赤うございますな 藤「昨夜徹夜で手代仲間が丁度二十八私の方へ寄合をしましてね 庄「ハイ 藤「それからマア酒肴が出まして、何でございます、スッテン〳〵と大散財 庄「散財なんぞなさいましたか 藤「そりやア嘘言でございますけれども、な、到頭お前さん徹夜皆が考へて漸う書上げましたのが、この願面でございますこれをばお出しなすつたら勝公事は受合でございます 庄「何うも御苦勞さまでございます 藤「勝に決つとります、貴方の方に少々無理があつたつて勝ます大丈夫でございます」藤兵衛願書を渡すとそのまゝ宅へ歸つて寢てしまつた。

名譽銀牌受領 キリンビール

●生徒募集

各學年補缺募集
私立京城夜學校
私立京城女子技藝學校

在來の第一學期及第二學期は九月末限り終了に付新に第一學期第二學期及第三學期(中學三年程度)を設け十月三日より始業す入學志望の方は至急申込まるべし

入院隨意
內外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目 高井醫院 電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

會席料理 大勉強
京城永樂町三丁目
酒道樂 電話一一七六番

乾燥牛乳 クリモラ
こなみるく
壹罐二百五瓦入（四十五錢）

米國政府特許品（一九〇二年）
原料 米國に於て純良の牛乳を眞空裝置にて乾燥したる粉末牛乳にして他物を混合せざる最も純良の粉末牛乳なることは大學敎授大澤博士の證明になり
使用 法は至極簡單なり用に望み自分の欲する丈け湯に溶かして用ゆるも又は其儘にて用ゆるも差障なし
特色 コンデンスミルクの如く砂糖を混合せざるを以て胃腸を害するの恐れなく用に望み何時にても新鮮なる殺菌牛乳を作るを得る最も簡便のものなり

日本總代理店 橫濱市境町二丁目 合資會社 友田商店（郵便局前）
朝鮮代理店 京城本町 調劑藥局 山岸天佑堂（振替口座朝鮮二〇三番、電話三七二番）

注意●
米國プロクター、エンド、ギャンブル會社製品

包裝ニ「アイボーリ石鹸」ノ日本文字アル者ハ舶來品也
欺カルヽ勿レ

瀛船競賣廣告
一錦江號 總噸數四十四噸
右十月三日弊宅に於て競賣致し候に付き御希望の御方は同日午後二時御來車被下度候
仁川本町四丁目 山本回漕店（電話五二二番）

電話開通 番號九四六番
すし、すき燒會席 外小鉢物色々
右精々勉強を以て御求に應ずべく候間御引立の程伏て願上候尙出前の義は御一報次第遠近に不拘ず持參致すべく候
京城旭町三丁目 夫婦庵

諸建築 ペンキ塗請負業
永樂町二丁目 渡部正美（電話一〇二八番）

●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候兼業
各國官衙御用達 洋服卸小賣
京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九九三

大聲蓄音器●葉卷煙及莨●洋酒類新荷着
歐米雜貨洋酒食料品　洋煙草類金銀屬美術品
直輸入商　漢城美術品製作所製品特約販賣所
京城本町二丁目　辻屋　本店電話二四八　支店電話三六六　韓國振替口座八七

東京電報

▲財政計畫と豫算　政府は四十四年度財政計畫の大要を十月下旬開かるべき全國手形交換場席上に於て發表し猶ほ引續き各政黨の重立つ者を一堂に會して豫算內示をなすことに內定したり（廿八日）

▲觀光切符の發賣　鐵道院は今回の朝鮮併合を期とし同地の地理風光を觀察する爲め十月五日東京發朝鮮觀光の船車を運搬する事となり廿六日より切符發賣を開始せるが成績良好なり（同上）

▲授爵者の發表期　朝鮮貴族令に基く授爵者は既に宗秩寮の審議を了したれば來る十月五日發表せらるべしと（同上）

▲侍從武官御差遣　第二艦隊及び吳佐世保豫備艦隊並に舞鶴軍港に侍從武官男爵西紳六郎氏を御差遣相成たり（同上）

▲騎兵の特別演習　岩手縣盛岡方面に於て十月十四日より騎兵特別演習を開かれ閑院中將宮殿下統率さる筈なり（同上）

▲商品改良會開催　農商務省商品陳列所にては十一月一日より第二回商品改良會を開催する筈なりと

▲美術展覽會出品　文部省にて開催の第四回美術展覽會は愈々十月一日より上野竹の臺なる會場に於て事務を開始し同月十四日より開會の筈なるが本年の出品は頗る多數也と

伯林電報

▲獨逸皇弟の訪英　獨皇弟はバルクホームに於て英皇帝と英皇太子の埃及御滯在に付き懇談せり（廿九日）

▲駐佛大使の任命　露國外相イスボルスキー氏は佛國駐劄大使に任命せられたるが赴任期は十一月中旬なるべし（同上）

雜報

寺內統監の巡覽

寺內統監は二十九日大韓醫院に到りて各室を巡覽し終りたる後ち秘園內なる博物動物各館を觀覽せられたりと云ふ

園藝品評の摸樣

目下開會中なる第一回園藝品評會に關する見聞を一括して報道せんに

▲初日の觀覽者　二十八日午前九時より廣く觀覽を許せしが初日の事とて定刻前より犇々と押掛け午後四時の閉會までに日鮮人四千名と註され其內容を分かてば日鮮各二千名位にて婦人連の觀覽は意外に多數なりし尙ほ當日團體の觀覽は仁川の府尹が引率せる者のみなりしが二日目の廿九日は午前丈けの中坡州郡守の引率せる一團と京城某學校の一行を見受けたるが當事者が本日は昨日よりも多數の觀覽者あるならんと打語り居れり

▲審查結果發表　最初當局者は廿六七日の兩日を以て全部の審查を了へ其結果を發表し斯くて廿八日より觀覽を許す筈なりしも〆切期限後出品の到着するもの頗る多く嚴密なる意義よりすれば是等期限後の着品に就ては一向取合はざるを可とすれど本會は第一回の事とて可成多數の出品を希望し且つ出品者の篤志も水泡に歸せしめざるの方針を取るべき事と議俄に一變し廿六、七日以來は恐ろか廿八日の着品をもそれぞれ陳列し居るが如き始末ゆゑ出品總數は四千五百餘點に達し從つて審查も意外に時日を費し廿九日午前中にも尙は結了するを得ざりしが斯ては到底底止する所を知らざれば斷然正午を以て打切りとなし今夜中に於も結了し明日發表する事となれり

▲優賞授與式　既報の如く褒賞授與式は閉場の日則ち來る二日午後二時より同會場に於て擧行の筈にて廿九日副會頭本田幸介氏の名に於て朝野の重立者四百五十餘名に案內狀を發せしが尙は會員も多數出席の筈なれば彼此れ七百餘名に上るべく摸擬店などの趣向もあるよし

●組合學校入學動機　平安北道雲山郡北鎭洞（北鎭）居留本國人等は同地に小學校設立の必要を認め過般學校組合に依り小學校を設立し居留民の子弟を敎育しつゝありたるが同地には耶蘇敎徒の設立に係る朝鮮人學校と然らざるものとの二校ありて相當就學兒童を收容し比較的新進の敎育を爲し居れるが本月五日より二十日に至る間に在留米國人子弟及朝鮮人の子弟四名は相前後して本國人の設立に係る組合學校に入學するを見たり今其の動機を聞くに朝鮮人中開運の思想を抱ける者は過般日韓合併の準あるや早くも將來日本的の敎育を受けしむるの利益なりとの觀念に出でたるものにして尙ほ續々入學を見るべき模樣なりと

●事務引繼の終了期　官制改革は愈十月一日より發表實施さるゝ筈なるが官制改革後に於ける施政方針は從來の政略的なるに反し今回は秩序的組織となり隨つて各地方に於ける行政機關も擴張さる可きことは一般の認むる處にして爲に各部は昨今非常の大繁忙にて事務引繼準備に鞅掌しつゝあるが右引繼準備は日を追ふて進捗し各部會計課を除いては皆來る十月十日迄に終了する豫定なりと因みに各部會計課は事務複雜なるを以て十日迄に終了を見る能はず二三日遲延すべしと

●公金取扱者の惡計　地方に於ける面長及公金領收の職にある輩が從來其取扱金を潛服し私利を營める弊實は屢々之を耳にせしが彼等は今回免租減稅の特典發布せられたるを奇貨とし第一期の納額を第二期とし或る無智の衆民を欺きて此特典あるを知らしめず其納稅を得て彼是流用し爲めに欠通金を補塡せんとする者簇出せるより當局者は嚴重其取締に着手せりと

●水道上水保護規則　廿九日統監府令第六十一號を以て公布されたる水道上水保護規則の內容は水道上水保護區域內に於て瓦礫塵芥動物の屍体等を投棄し又は家畜放飼、捕鳥游泳洗濯其他水質を汚損すべき行爲を敢てしたるものは拘留又は科料に處せらるゝことにして外に多少の制限を規定せり

●最近の內地留學生　最近其の筋に於て調查に係る朝鮮人の日本內地に留學生總數五百四名にして之れが學業別を聞知するに專門部政治科及經濟科九十名（官費生を含む）實業學校七十二名（同上）宗敎哲學校（文學）十名醫學校二六名普通部中學校七十名小學校八名其の他各種學校百三十七名にして未詳なる者九十七名なりと

●國有田拂下の希望　舊韓政府の國有田は畑三萬四千二百八十二町步田六萬六千四百五十九町步合計十万七百四十二町步ありて此小作料は百川十一萬三千八百六十八圓の巨額を示めし內國稅中重要なる財源の一に數へらる然るに之を民間に拂下げ國有の手を離るゝ時は這箇重要財源を失ふに到るべきも更に得らるべき地租と民有に移したる結果より生ずる利益とに考ふる時は如上の損失は充分償ふに足るべきを以て之が拂下を希望する向尠からず當局者中にも此意見を持するものありと言へば早晚事實問題として討究さるゝに到るべしと

●京元線の工事入札　廿九日朝鐵道管理局にて京元線第二區工事入札を行ひたるに結局左記の差にて小林組に落札したり

志岐組	二一四、九〇〇・〇〇〇
間組	二三一、五〇〇・〇〇〇
早川組	二一二、五一五・〇〇〇
小林組	一九四、四八四・三五〇
荒井組	二二六、三〇〇・〇〇〇
森組	一九八、五三〇・〇〇〇
稻田	二一三、八三〇・〇〇〇

●未勘金決定と收入　今回納付免除の恩典に浴したる未勘金は決定額百五十万八百九十二圓にして之に對する收入濟額は十一萬七千百四十五圓なりと而して決定額中其後透去せるものは頗る多數にして無慮五十萬圓ありと云ふ

●村民の道路大修理　龍山麻以西揚花浦に至る道路は從來存在しあるも降雨の爲め使用するに形狀を失ひたるより村民總出にて修理復舊せしめたり延長は揚花浦六百二十二間東幕四千間西湖部內四千四百間なりと

●地方長官と警察權　新官制による警察機關は依然特立機關たる警務總監部の下に統一せしむべきが地方道長官の之に對する權限を聞くに必要の場合は隨時指揮し得べき制度なりと云ふ

●總督府直屬各機關　新官制實施後に於て各部に屬せず總督府に直屬す可きものは取調局、通信局、鐵道局、平壤礦業所、印刷局、營林廠、土地調查局等なりと

●漢城府衛生會々議　漢城府衛生會にては來る十月十九日衛生會評議員會を開き時候柄の衛生施設其他の件に就いて評議する所あるべし

●新築工事と入札　經理部に於て龍南乙步兵聯隊大尉合同宿舍外五廠及龍南甲步兵及野戰砲兵聯隊大中隊被服倉庫新築工事を來十月五日記名入札の筈

●德富氏の水原行　來京中の德富國民新聞社長は二十九日午前九時南大門發南行列車にて水原へ向け出發したり

●山口會頭の出張　山口商業會議所會頭は二十九日午前九時南大門驛發南行列車にて馬山へ向け出發したりと

●松本主計の出張　軍司令部松本一等主計は物資調查の爲め來る十月一日頃より慶尙道地方へ出張する由なり

產業振興策（十二）

合併後の　統監府參與官　小松綠君談

產業振興策に就て卑見を述べよとの事なれども、是は當局者及當業家に於てれのづから成算もあろう、刀筆の吏たる拙者等の大言壯語を許さぬ所である併し產業の振興を圖ると云ふことに就き批評位は出來ると思ふ。

蓋し產業の振興と云へば、先づ農業を改良して工業を發達せしむることであろう、けれども眞誠の意義に於て工業といふほどのものは絕無なりと言はざるを得ぬ、是は先づ原料を移し、製品を運ぶ所の機關を要することで、鐵道の敷設が先立つことは何人もいふ所であろう、農業に就ては米麥の耕作は申すまでもなく既に棉花蠶桑の栽培等着々進捗し居る有樣であるから此上、拙者等は獻策もないが一般の心得方に就きては大に希望がある、其れは外でもないが萬事に於て世界の進運に伴ふと言ふ事である、產業に於て殊に然りである、元來東半球の諸國が或は野蠻或は半開で終始する運命を有する間に於て、日本獨り嶄然一頭地を拔いたのは、泰西の文明を咀嚼同化して、位地は東洋に在り乍ら、文化は西洋に讓らぬまで進んだからである、併し其の進んだ個條を列擧することゝなると聊か忸怩たらざるを得ぬ所がある、陸海軍の軍略、戰術となると事實が證明して居るから毫も疑がない、學問技藝是も自慢が出來るが、產業となると殘念ながら顏色なしといふべしである、農業だけは規模小なりと雖も多く他國に劣らない、商工業となつては依然たる東洋流で世界に對してはれ恥しい次第である、是は事實が證明して居るから仕方がないので、論より證據貴社が「產業振興策」など騷いで居るではないか、歐米諸國で今頃新聞紙上にてコンナ表題を揭げ、名士とかの意見を求むることなどは思ひも寄らぬ事である、如何にして「トラスト」を征伐すべきか、如何にして「ストライキ」を根絕すべきかといふ產業過盛的の救治策を講じて居るではないか、現に朝鮮でも鑛山は大抵外國人が取つた樣にいふて居るが、實は外國人のは五指を屈する程もない、日本人の持つて居るものは數百もあるが着手するものが少いので空權の賣買が流行する、外國人は着實に大資本を投して永久の企業をする、幾百の鑛山中成功したものは僅少であるが、大に成功したものは外國人の經營に係るものであるといふのは此の故である、商業では淸國人にさへ數步を讓つて居る、京城でも安昌號などの信用あり且大規模の商店は日本人中にはない、其の他の地方では勿論淸國人の方が日本人より信用がある、開港場は勿論全州、公州、景江、大邱などは拙者親しく目擊したが、日本人の成功者は高利貸位で淸國人は正業者として成功して居る、なさけない次第である、拙者はれ國自慢をしたいのは山々である、併し羅馬でも波斯でもれ國自慢で亡びた自慢は進步の敵である、驕盈は個人でも國家でも大禁物である、世界の進運に隨伴せんとせば自國民の欠點を明白に感了して奮勵の氣を起さねばならぬ、れ氣に入らぬかも知らぬが僕は常に苦言を呈するを以て人にも國にも忠實なる所以なりと心得るものである。

東拓移民の募集

既報の如く東拓の移住民規則は去る十六日付を以て認可されたるにより同社に於ては移住に關し目下切りに準備中にて明春迄には第一回の移民募集を爲すべしと

觀光團視察日程

中部鐵道管理局主催朝鮮觀光團は當初二百名の豫想なりしを其後の申込旺盛にて遂には百五十名の多數に達し愈來月五日を以て發程と決定されたるが是に對し朝鮮鐵道は大に歡迎の意を表し視察全區間に臨時列車を運轉し他及ぶ限り鐵送の便宜を諮らるゝ由なるが尙は當地實業界に於ても此際充分なる歡迎の意を表せんと夫々打合せ中なりと而して其視察日程は左の如し

▲十月七日下關着發同夜釜山に一泊▲九日京城着二泊其間仁川を視察▲十一日平壤着一泊▲十二日新義州着即日安東縣に渡り同所一泊▲十三日新義州に引返し▲十四日平壤を經▲十五日南大門に着京城一泊の上歸途に上る

●視察團体と鐵道局　今回東洋拓殖會社主催に係る內地篤農家朝鮮視察二等團体約五十名は十月二日釜山着同三日釜山發各地を視察して平壤迄行き二十七日釜山へ引返し直に歸國の豫定なるが特に鐵道局にては團体用として車一輛を充用し乘車賃金を五割引となし又團体乘降驛にては普通旅客と區別し集合に便ならしめ尙車內持込手荷物等停車場內の運搬は驛夫に於て取計ひ其他出來得る丈け諸事便宜を計るべしと

●鐵道觀光團の歡迎　中部鐵道主催大觀光團來着に對し當商業會議所は固より一般實業界に於ても併合後第一の觀光として特に優待の希望あり是に就き廿九日民會に於ては準備上諸種協議さるべき由なるが某有力家の言に據れば兩會議所主催日鮮兩民大懇親會の擧も既に近くに迫れる事なれば成るべく此觀光團來着を期とし景福宮若しくは景照宮構內に於ての歡迎會は時節柄最も妙なるべしと

●試作甘菜分析試驗　東拓會社が本年度試作せる甘菜は既に成熟し目下黃海道黃州興業會社內同社出張所及平壤附近の耕作地並に水原勸業模範場に於て分析試驗施行中なり試驗の標準は第一糖分第二收穫量とし今日迄の成績によれば頗る有望なれば來年度よりは大々的耕作に着手すべく其方針を決定すべしと云ふ

●國境と淸國の杞憂　韓國の併合は淸國をして種々の杞憂を抱かしむるに到り現に鴨綠江岸に於ける同國官憲監心の態は寧ろ滑稽に類する程なり而して利權回收熱は同國朝野に蔓延せる今日道般對抗的態度は斷ゝ注意を要する事たるを以て吾國に於ても相當之に應ずる施設を爲し接壤地に釀起し易き國交上の憂患を未前に防止せざるべからずとて目下考究中なりと

●東拓視察團の勢揃　內國より渡來すべき東拓會社主催の實業視察團は來る二日釜山に到着するを以て會社よりは林理事松田庶務課長等出張して玆に勢揃を爲し旅行に關する打合を爲し夫れより視察の途に就く筈なりと

●黃海道近海の漁況　黃海道長淵郡夢金浦は昨今鎭南浦地方より大刀魚漁業者日鮮人二百餘名來浦し盛んに從業中なるが本年度は試驗的なるに不拘他漁業に比し大差なく最も良好にして尙ほ各地より移住者も多しと

●山縣副統監歸任期　山縣副統監は二十八日午後三時三十分東京出發歸任の途に就きたるが夫人令孃を伴へる旅行なれば途中に一二泊を費さるべく故に着京の日取は更に來電を待たざれば不明なりと云ふ

●西韓方面狀況視察　總監部は併合後に於ける地方狀況に就ては種々報告に接し居るが尙は實況查閱の爲め憲兵中尉高田警視を平安南北道へ派遣せり

●夏季講習會員招待　廿八日午後三時より夏期講習會員七十五名を學部に招きて茶菓の饗應を爲したるが當日前學相李容植氏も出席して紀念の撮影を爲したりと

●英國陸軍大將北行　英國陸軍大將バリウ氏一行二名は廿九日午後九時十五分南大門發北行列車にて新義州へ向け出發したり

●仁川民會延期開會　仁川民會は廿八日午後七時開會之處廿九日に延期し既報の件を決議したる由

●菊地商工局長出張　菊地元商工局長は廿九日午前九時南大門發南行列車にて水原へ向け出發せり

公人私人

▲國太郎（大阪每日記者）入京中の所二十八日仁川へ向ふ
▲島崎新太郎（同上）同日釜山へ
▲覺島捨松（同上）同上
▲野木傳三（技師）同日水原へ
▲向坂幾太郎（同上）同上
▲中村光吉（韓銀平壤支店長）同日歸壤
▲松本武政（鎭南浦新報主筆）同日歸社
▲秋本豐之進（鎭南浦理事官）同日歸任
▲兩角熊雄（平壤水道事務所長）同歸任
▲平賀幾美（工學博士）同日釜山へ
▲和田維四郎（鑛業顧問）同上
▲永松運吾（時事新報社員）同安東縣へ

▲京城手形交換高▼

九月	金高	枚數
廿九日	九一、七四七、九二	四七二

▲仁川米豆取引所▼

▲前場（廿九日）十一月限一節八圓六十三錢一錢六十錢五十九錢八錢▲二節五十七錢六錢五錢四錢三錢二錢三錢四錢▲三節五十四錢三錢四錢五錢四錢▲出來高五千石

▲大阪期米電報▼

▲前場（廿九日）九月限寄十四圓五十三錢止五十八錢▲十月限寄四十二錢止四十一錢▲十一月限寄四十七錢止四十錢

▲仁川港の出入船舶▼

▲酒田丸　三十日門司より入港
▲木浦丸　三十日大阪より入港
▲酒田丸　同正午大連太沽へ向出港
▲木浦丸　午後五時大阪へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　廿八日の分如左
乘車客　五九七　下車客　八二二
乘車賃金　一〇八一、六九

▲南大門荷物扱高　廿八日の分如左
發送　八〇噸　到着　二九九噸
送賃金　一二五五、九二

▲龍山驛の乘降客　廿八日の分如左
乘車客　二五七　下車客　二〇八
乘車賃金　二二〇、八二

▲龍山驛荷物扱高　廿八日の分如左
發送　二四噸　到着　二六〇噸
送賃金　一三七、六七

朝鮮人の行賞に就て

（某大官の談）

東電の報ずる所によれば今回朝鮮貴族令に依りて貴族に列せらるる者は既に大体の詮議を經て其數約五十名なりとのことにして其發表は總督府官制發表後新官廳事務開始期と同時又は天長の佳節に內定したりと云ふが我輩を以て觀るに授爵者の人數を限り又は其發表期を定むるが如きは抑も謂れなきことゝなり今回の併合事件に關して特に直接に功勞ありたる者は別として其以前より日韓の關係に功勞ありしもの如きは一朝一夕にして其事跡を調查し了るべきにあらず且つ今後と雖も特に國家に勳功を立つる者あるときは論功行賞あるべきは勿論なれば古き過古の事件に就て功勞ありたるもの如きは詮議を了るに從ふて之を發表するを可とす何となれば論功行賞のことたる万遺漏なきを期すべからざるは日淸、日露兩戰役の時に於ける例に見るも明かにして功勞ありて功賞に漏るる者は不平を唱ふるは人情なり今や朝鮮人は何等かの恩命に接すべく息を殺して期待しつゝあるが故に今回の論功行賞の一段落を告げる曉に若し之に漏れる者あるときは不平を唱ふるは明らかなり斯くては陛下の御聖旨にも反する譯なれば事ろ調查の了るに從ひ漸次之を發表するに如かず斯くすれば自ら功勞あるてとを恃む者は恩に浴せざるを恨ますして發表の早からんことを待つのみにして不平を唱ふるが如きことはなかるべく兩班儒生の授產に就ても同理なることを信す云々

●慈惠院擴張に就て　[illegible]の報告未着の爲め詳說し難きも各方面の情報によれば何れも十二分の成績を[illegible]

●平北龜城の新金山　[illegible]見したる由當局に通報ありたるが龜城郡地方は連年の飢饉の爲めに地方民は塗炭の苦しみに遭遇し居る場合なるを以て之れを採掘せんとする英國人は之[illegible]願出で來れりといふ

●惡疫院擴張に就て 人[illegible]く具体の報告不日の爲め詳説し難きも各方面の情報によれば何れ、十二分の成績を擧げ居る如く新設厚德の標榜としては異に紫宵を得たるものなり而し目下の所にては唯一般の論は困より一の論斥を得られざる狀態なれば今後財政の容す限り漸次擴張の意向なり其費用の如きも可成節易を旨とし一ヶ所の設計畫も約五千圓を限り經常費又た七八千圓とせば幾何かにして獲る所大なるべし斯くは唯だ出來得る限り分院數を殖し汎く救若の實を擧るにありとは某當局者の[illegible]ふ處なり

●平北鐵山の新金山

平安北道鐵山郡に於て新金礦を發見したる由當局に通報ありたるが鐵山郡地方は連年の飢饉の爲めに地方民は塗炭の苦しみに遭遇し居る場合なるを以て之れを採掘せんとする英國人は之れが[illegible]を名とし採掘許可を當局に願出で來れりといふ

邦人十三名監禁さる

▽辨髮したる邦人が動機

清國西豐縣衙門所在地たる梅鹿に於て在留邦人十三名が同國官憲の爲めに捕縛投獄せられたる事の眞相に就き聞く處に依れば清暦八月十三日同知縣は在留日本人會長井田哲に對し梅鹿は元來非開放地なるを以て日本人は速かに協議を遂げ退去す可し尚ほ決議の上は退去の月日を定め其の旨請書を提出すべしとの通告ありたるより在留邦人一同は其の翌々十五日井田哲方に觀月宴を催ね集合し其の協議の結果を齎らして十六日午後三時頃一行十三名袂を聯ねて知縣衙門に至りしに邦人中の一人某氏は辨子を蓄へ支那裝を爲し居たる爲め衙門職員の一人が該支那裝の邦人を捕へ和郞は支那人なれば直ちに此儘より引下れと辨髮を掴みて引倒し辯解者の言を肯かず散々に殴打を續けるより他の十二名の邦人は茲に躍氣となりて一場の爭論となり果は雙方入亂れての格鬪を演ずるに至りし際知縣は命を部下の兵卒に下し理由なく捕縛せらるゝ謂れなしと極力爭へる十三名を暴力を以て其の場に引括り悉く是れを長さ九尺幅五尺の狹小なる暗室に押込め監房の內外に武裝せる兵士を附し粗食に大根の鹽煮にしたるを唯一の野菜として日に二回支給する外一切差入等を禁止し寢具の如きは無論毛布一枚も與へざるのみか食事中又は就眠の際と雖ども繩を解かず外來の面會を嚴禁し同房中の談話の如きも一切嚴禁して暴狀を極めり此の急報開原警察官吏派出所に達するや即時鐵嶺本署に報告すると同時に二十日午後五時三十分藤原巡査を騎馬にて急行せしめ知縣衙門を訪ふて捕縛監禁の理由を質したるに昨奉天交涉局より祁外一名の大官急派すべければ其れ迄は何等の事情ありとも日本人の監禁を解放す可からずとの來電あり何事も言明する限りに非ずと峻拒せるより藤原巡査も詮方なく面會及び差入許容の件のみ承諾せしめて引取たり更に鐵嶺領事館よりは二十一日の拂曉森岡書記生外數名の警官急行したる由なれば不日其の行衛も判明すべし

大同江上の海賊

▽主魁閔東植其他就縛

大同江上に海賊ありとは世人の夢にも見ざる所なる可けれども保山駐在巡査の手に依りて極めて有力なる海賊大同江上に潛伏し居る事發覺され遂に其の主魁と目さる可き惡漢を始めとして他の勢力ある連累者を逮捕したる事實あり去る二十三日管內吾非面の市日に際し保山駐在所にては擧動怪しき三朝鮮人を認め忽ち駐在所へ引致して嚴重なる取調べをなしたるに一人は同地德所横生れの沈利豐(四五)他は黃海道鳳山郡西湖面夢山洞生れの李春三(三四)と云ふ海賊の一群にして市日を幸ひ食糧を求めんため上陸し同時に警察の行動を窺ひ居たるなりと自白し尚我主魁閔東植(三二)が同面を去る二里餘の新井面に潛伏し居る事を告げたれば千葉巡査は早速捕縛したる兩人を伴ひ巡査補三名を引卒して廿四日未明閔東植が潛伏したる場所へ向け急行せしに其途中太美上面に入るや圖らずも目的とする閔東植に出會し折能くも有無をいはせず其場にて捕縛し尚居宅を搜索する必要ありとて彼等を道案內として同所に同行したるが鄭昌書(十九)金德吉(三二)鄭忠信(三二)と稱する部下は之れを見るより大に狼狽逃走し三人を引卒したる巡査一同は殘念ながら彼等を追尾して逮捕す事を得ざりき斯くて彼が居宅と稱する家屋を精密に取調べたるに此は如何に立派なる村田銃一挺彈丸數百刀劍一本鐵棒一個等を發見したれば忽ち之を沒收し警察署へ送附したり警察にては取調べの結果此等は十八より成る一團にして鐵島を根據とし大同江及び載寧江を上下し朝鮮人及び支那人の航行船を襲ひ彼等を強迫して何物にも拘らず船載品を強奪し美事に罪跡を暗らまして今日迄天網を逃れ居たる恐る可き海賊にして尚部下四五名は鐵島に居住し居る事判明したれば神田部長外數名を二十五日鐵島に急行せしめ逮捕に從事せしめたるが部下の任永在(三二)と云ふは同地にて立派なる酒商を營み居る者にして此れ又難なく捕縛したれど他の三四名は何れへか逃走したり斯くて此恐る可き海賊の主力四名を捕縛したれば殆んど全滅と云ふ可く他の部類は目下嚴探中なりと

酌婦誘拐者の取締

▽嚴重なる制裁を加ふ可し

當地警察署にては小料理店取締一策として從來の如く遁亡せし酌婦の搜査願を一切受附けざる事と爲したるが之を聞きたる遊周旋屋其他惡漢者又は多額の借金を持てる酌婦等は奇貨措くべしとなし盛んに足拔きを企て茲處遁亡御免と云ふ有樣にて過去壹ケ月の間に遁亡せる數は實に夥多しき由なるが彼酌婦等は遁亡したりとて決して正業に就くに非らず再び他へ住替へ徒らに誘惑者を利するのみにて結局前抱主を踏倒したる上已れも再び苦界に沈むと云ふ有樣なるが當局に於ても大に其弊害を認め今後惡漢者の取締を嚴にし若し斯かる所爲ありと認むる者は何人と雖も警察に密告すべしとの事なり

仁川金光堂の惡策

▽妻女の了見違ひ

去る二十日の紙上にも是れも誰故女故と題し掲載したる熊本縣八代郡生れの山田政雄(三二)が去る十六日婦人持金側懷中時計を仁川喜多金光堂へ持ち行き賣却せんとして取押へられたる事に付き端なくも金光堂が不正手段を爲したる事暴露したる事實あり廾は同日右山田政雄が金側時計を賣却せんとして店員中山英策に示したるに元價六十圓もする時計を僅に五圓五十錢にて買取るにし保證人に松山樓主人を依賴すべければとの事に店員竹內與市を同行せしめたり然るに一方仁川署刑事は同店に至り斯く〳〵の者が時計を賣りに來らざりしかと問合たるに右の如き事實なしと答へしより直ちに宮町方面に向ひたるに同町一丁目にて計らず右山田に出逢たるにぞ直ちに逮捕したるに金光堂の店員が附添ひ居るより同店へ連行き取調べたるに中山は妻女の命によりて事實を申立ざりし旨判明したれば始末書を取りて一先歸署したる由なるが同店の如き大商人が何んの爲めに斯る手段に出でたるか訝かしき限りなり

雇人の横領發覺

▽主人連の注意肝要

島根縣大原郡海潮村大字北村四百九十番戶士族當時住所不定栗原榮四郎(三〇)は本年二月より京城曙町雜貨商中村文吉方へ店員として雇れし中身分不相應の遊興を爲し居る事南部署長野岸兩刑事は怪しと認め注意中第一九月十七日得意先を廻りに出で京城御成町渡邊某より賣掛代金の內十圓三十錢を受取り雇主に交付せず鐵原に逃走の旅費に費消したるが既に八月中數回に白米二石二斗ビール二打代石油一罐を米倉町福田安太郎其の他に掛賣したるものゝ如く裝ひ之を三回割の低價に南大門通り市場にて氏名不詳の朝鮮人に賣却し得たる金額は全部明治町二丁目料理屋吾妻樓に於て費消し更らに同月中御成町古書商矢野文吉なる者より金指輪一個を代價三十圓位にて賣却方の依賴を受け現品を請取りたるを奇貨として明治町一丁目三浦質店より金二十圓を借り受け同じく吾妻にて酒色に費消したる事前記兩刑事に探知されたるに付き前記十圓三十錢の横領金を旅費として鐵原に逃走せしが鐵原憲兵隊に逮捕され身柄は南部署に護送され來り取調の上昨二十九日私書僞造行使詐欺取財幷に横領犯として檢事局に送らる

平壤方面の虎疫

▽向ふ河岸の火事に非ず
▽各自に於ても注意肝要

平壤方面に於ける虎列拉の流毒は愈々猖獗を逞ふし其形勢頗る恐るべきものあり現に去二十八日は十七名の新患者を出し死亡四名初發以來の累計二十八名に達せり而して當局者は極力防疫に力め假避病院を設け其全部を收容せるが朝鮮人の常として患者を隱匿するの惡習あれば各戶に警察官を派して搜索中なり然れば或は意外に罹病者も發見すべしと云ふ

日鮮人聯合大懇親會

▽場所は未定▽期日は十月九日

本國人側商業會議所に於ては廿九日午後七時會議所樓上に於て懇親會委員會を開催する筈なるが此際沈衰する京城の景氣振興策として最も大仕掛に目論見所柄來城の筈なる鐵道院主催の大觀光團二百五十餘名を來賓として招待し日鮮藝妓の總揚げなし場所は景福宮又は慶熙宮に決すべく期日は來月九日なりと云ふ

●土地騙取事件公判　漢湖農工銀行理事尹敬重を欺き數万圓の價格に相當する土地を騙取したる徐起文外三人に對する詐欺取財事件は一昨二十八日京城地方裁判所に於て塚原裁判長伊藤檢事の掛りにて公判開廷事實の審問ありたり

●本町郵便受取所の盜難　本町六丁目郵便所にては二十九日午前一時過ぎより三時迄の間に於て金數十圓の盜難に罹りたりと

●人妻を旅費にす　熊本市建町富田某(三八)は同第六師團司令部雇員を拜命し居りし者の由なるが併合の結果朝鮮には諸種の事業勃興し從つて好景氣となるべければとて渡鮮の志を立てたるも旅費の調達に苦しみし揚句或る高等官の妻女(四六)と通じ同人を誑り衣類其の他を賣り拂はしめ其の金を以て二人手を取つて渡來後は龍山方面に潛伏し密々何かの仕事に有り附かんと百方奔走中なるが其の妻女と云ふは此の頃に至り自己の非行を悔悟して淚に咽び居る由なるが惡むべきは富田某の奸策なりと遙々熊本より投書し越せしまゝを

●ピストルを呑む　友達の金も飮むと題し報導せし長崎縣生大工職當時龍山岡崎町百五番戶大井金吉方水島精一(二十)が桃山遊廓玉川樓にて友達の貸金をも飮みし事は既記の如くなるが其後正木方より追出され大工道具迄入質して飮み了りに正木方の短銃を盜み出し之を桃山町の車夫松之助に依賴して馬場質店へ三圓にて投げ込みこれも玉川樓にて飮みだる事發覺し酒木刑事に取押へられ取調の上檢事局に送られたりとは恐ろしい程酒氣の好きな男也

●一圓で懲役八月　滋賀縣犬上郡彥根町字四番町百五番戶當時住所不定平田熊吉(三二)は前科三犯の曲物なるが本年九月十二日永登浦監獄出獄後職を徘徊中知合となり居りし龍山元町四丁目居住雜貨商を營み居る大西萬吉なる者と出會し同月十六日十七日の二度に大西を恐喝して金二圓を奪取したる事は既報の通りなるが昨二十九日京城地方裁判所に於て懲役八箇月に處せらる

●朝鮮女郞の仕入　東京吉原遊廓角老海樓主井上光太郎、淺草馬道田村政造の兩名は遙々併合後の朝鮮視察として釜山に來り二十六日市川警察署長を訪ひ朝鮮婦人を娼妓に買入れ吉原へ送り度しとて其手續を願出でたりと云ふが然うして又御損をなさるも罪滅ぼしなるべし

京城座を觀る

一昨夜京城座を覗いた、久しぶりで京城座に入つて見た、ソモ〳〵此の京城座は京城に於ける劇場としては古い歴史を有してゐるのである、今の商業會議所の裏手から現在の本町七丁目に移轉してからも四五年になる、が京城繁榮の中心が漸々南に移つて行く間に何時か東部の居住者以外には忘られたりなども其の忘れた方の一人であつたが通りかゝつて何氣無しに入つて見る氣になつた、サテ入つて見て面白いと思つた、夫れよりも氣持が好かつた、氣持の好かつたのは場內が何と無くシツトリと落着いてゐたからで、觀客の人別は判らぬが打見る處總じて眞面目なる勤勞し其の慰藉を此處に得やうとする人達だナと見て取つた又面白いと思つたのは登場の役者が本氣で演つてゐたからだ、イヤ役者が舞臺に上つてフザケてゐる奴もあるまいが、本氣でやつてゐるぞよと觀客に見せるのが嬉しかつた、拙者は「兄弟兵士」の營倉、面會所と死刑場との二場を觀たが、高島一郎の步兵上等兵山岸正雄浮田傳兵の步兵伍長山岸秀雄、須美禮磐の步兵大尉中西剛三などは眞面目で本氣でやつてゐるので觀客をも本氣[illegible]た、拙者などは山岸上等兵[illegible]縛られたる其兒山岸伍長[illegible]とあつて銃を擬する邊では[illegible]とした、併し劇の筋は二場[illegible]能くわからぬ、唯見た處[illegible]といふ外はない、役者は[illegible]れても拙者には分らぬ、[illegible]ある、觀客の大多數者も[illegible]面白く見せれば夫れで結[illegible]イクラ名人上手でも素人[illegible]なければタメだらう、若[illegible]のを別にして面白く芝居[illegible]ふ人の目には外のドノ劇[illegible]も劣らぬ芝居だと拙者は[illegible]座は成美團と稱するさう[illegible]

●熊本城內の白蟻　兵六大隊倉庫、衛戍病院、その他に當られたる熊本城內[illegible]蟻發生し損害見積り十四[illegible]の止むなきに至りたるが[illegible]矢倉には幸ひに其害なく[illegible]聯隊もまたこの害を蒙れ[illegible]

●大阪の白米相場　白米は廿五日より一升につき[illegible]上げ遂に足揚一等米は廿[illegible]し水車精米は一等十九錢[illegible]

目ざ耳

▲浪花館　如雲一座三[illegible]關口彌太郎傳(雲友)塚原[illegible](不二男)鎌竹梅三女の[illegible]佐倉義民傳(雲若)寛永[illegible]男)赤穗義士銘々傳の內[illegible]衛門』後席『大高源吾』[illegible]

▲龍山座　金馬一座三[illegible]四の字嫌ひ(金平)指の[illegible]遊齋、常盤津浮世ぶし[illegible]わ音曲(市馬)天災(金[illegible]手踊り(金登喜)人情噺[illegible]遊)曲藝ナイフ(金治[illegible]の巣籠(花堂)笑ひたけ[illegible]

▲歌舞伎座　曾我の[illegible]

▲壽座　東操も打揚げ[illegible]より博多二〇加臺屋組[illegible]すべしと番組左の如し　一番目『義者助太刀』二[illegible]中幕筑前琵琶『義士本[illegible]子本年九歳)三番目「[illegible]人』大切『朝鮮ハイカラ[illegible]自十八番の遊藝を御覽[illegible]

今日の運勢

九月卅日　白先負　戊戌[illegible]

[illegible]相談謀議旅行見合せの事[illegible]み外れに了らんさす[illegible]尤も注意の[illegible]負傷防ぐべ[illegible]闘の日諸事不得要領に了[illegible]林業及婚談に吉△五黃●[illegible]爭の端を惹起する勿れ他[illegible]收利得益の日賣買貸借取[illegible]

易斷 三一館
通信判斷一圓特別二圓 [illegible] 京城本町五丁目

●貸間

眺望頗る宜し空間澤山あり御望の方は下記へ御申越しを乞ふ
南山町二丁目一〇一
船越芳雄
電話一六八一

●天氣豫報（自廿九日午後六時 至三十日午後六時）
北東風 晴
廿八日（攝氏） 最高溫度 七四・七 最低溫度 五〇・四
（本町五丁目三一館御判斷）

廣告

古着、古道具、諸雜貨、疊建具
賣買處
京城永樂町二丁目
五十競賣所
電話一四〇七番

英國
ニユージーランド
火災海上保險株式會社
創立 西暦紀元千八百五十九年（邦暦安政六年）
資本金 一千五百萬圓也
準備積立金 四百四十五萬圓也
支拂保險金 七千四百三十二萬圓也
日本に於ける投資金 日本帝國五分利公債十萬圓也
日本總代理店 支店 橫濱市山下町百六十七番 東京、神戶、大阪
朝鮮代理店
京城永樂町二丁目十六番邸
藤原商店京城支店
電話一八九番

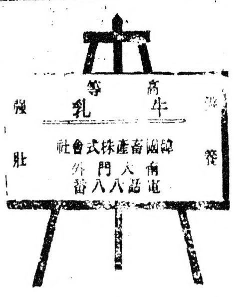
和樂園
名物 湯豆腐のあじも
自慢の品
高田屋 電話九三七

醫學士木村先生方劑
健胃整腸散
定價十錢廿錢
○腹痛、下痢、腸加答兒、赤痢（下り腹一切）の最良藥
發賣本舖 京城明治町三丁目（電話三七）小川藥店
▲本品は市內各藥店にあり最寄にて御買求を乞ふ

院長診察毎日午前 自五時至正午
龍山元町二丁目（電話一〇番）
佐藤病院
●胃腸病診療
院長診察毎日午後 自一時至三時
龍山郵便局北隣
佐藤病院出張所

法學士
北島靜法律事務所
京城裁判所西隣
七川沖町三八（タウセンド商會跡）（電話七〇二番）

諸看板製作
油繪肖像畫●硝子金文字入
[illegible]
永樂町二丁目
湛野工舍



古家屋、賣買、新古材木並
トタン板、雨戸、障子類一式
其他建築材料一切
古着、古道具、諸雜貨
京城本町七丁目京城座前
建築材料店 五十
電話一千四百二十四番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

本館 本町四丁目（贊化病院前）
特色 夜間撮影
河合寫眞館
電話一二六九

弦齋流割烹
すゞ祢
南山町一丁目
電話千五百二番

㊎芙江公州間出帆廣告
芙江發 毎日後一時ヨリ京城方面ヨリ急行接續
公州發 毎日前七時京城方面行急行接續
（荷客共御取扱可申候）
御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店ヘ御尋被下度候

汽船出港廣告
月串、喬桐、海州行
汽船 天草丸 安來丸 成歡丸
隔日出港
仁川港海岸通
柴田回漕店
（電話四一九）

帽子 シャツ 羽根蒲團 毛布
冬物新荷着
ブドー酒 ウイスキー ブランデー 洋莨類
京城本町
辻屋
本店（電話二四八番） 支店（電話三六六番）……振替口座八七番

開店一週年に付
破額廉價大賣出し
九月廿八日より
本場秩父縞
縞類 五圓
絣類 五圓五十錢
甲斐絹 尺二十錢
其他特製珍柄澤山取揃申候
均一
秩父屋
京城明治町一丁目
關根出張店
（電話四三）

醇良清酒

京城明治町
大塚京城支店
（電話四百一番）

開業
蒸氣消毒牛乳
㊥
廣養舍 細川牧場
京城青葉町五十番戸ノ一
電話（一參六六番）

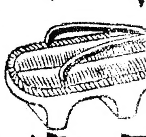
秋の料理相始め候
うなぎ、すし、しる粉とも従前の通相調へ申候
出前は遠近を問はず多少を論せず迅速御用相違し申さゝく候
壽町二丁目
電話九百四十四番
食道樂

理想的燃料白煙石炭
ハ朝鮮黃海道鳳山郡ノ産ナリ
ハ名ノ如ク白煙ニシテ煤煙少ク煙筒ノ掃除ヲ屢々要セズ
ハ無煙炭ヨリ火付キ善シ
ハ取扱綺麗ニシテ室内器具等ノ汚穢スルコトナク
ハストーブ、オンドロ、藥代用風呂炊事用ニハ獨占的理想燃料ナリ
ハ撰塊（粉抜キ）ニシテ持込ミ壹噸（叺ナシ）金八圓壹叺賣金七十錢ナリ
ヲ重ンゼラルヽ御方ハ一刻モ早ク御使用願上候
白煙石炭 白煙石炭 白煙石炭 白煙石炭 白煙石炭 經濟衛生
官營無煙炭 馬糧大麥
一手引受販賣店
船橋炭坑採炭所
三井物産株式會社京城出張所
古市町 苔米地商店
（電話九四一番）

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良高等牛乳
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
京城南大門外
荒井牧場
（電話一〇五六番）
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候
龍山本町三丁目
龍山販賣所
（電話二〇二番）

法律事務所開設
今般左記の所に荘子辯護士出張事務所開設致し候に付き一般法律事務を懸篤に取扱へ仕候
辯護士
仁川仲町二丁目五番地
主任 荘子斌事務所
本内子代吉

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

東京

足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

御挑の附地 京の たまや
御用向の節は郵便又は電話にて御一報下さい、早速見本を持参致しますお勘定は格安にて御取扱申上ます
京都 たまや出張店
京城永樂町壹丁目（電話千百九十六番）
たまや本店 京都市新町四条上ル 特電話……
たまや支店 大阪市……

酒精アルコール
新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

本院は毎日（日曜及祭日を除く外）午前九時より午後四時迄各專門醫に診療を依頼す
但 松村先生の診療時間は午前九時より正午迄とす
和田先生の診療時間は午後二時より
京城居留民團囑託
龍山榮町文平山麓
龍山醫院
（電話六〇三）

義齒術全般
龍山元町二丁目
飯田健太郎
電話

醇良清酒

醸造元 韓國 千田 口鳥 酒正宗 造 合資會社
發賣元 仁川支店
（電話三五九）

各種石鹸化粧品卸商
仁川新町二丁目
月本商店
電話五四〇番

諸官衙御用達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐ブレシン 穀物食鹽 ……料類
發賣販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田……
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
……株式會社……特約
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京橋南新橋……（電話三六九）

仁川京町二丁目六番地
（區裁判所横）
後藤法律事務所
電話五〇六